

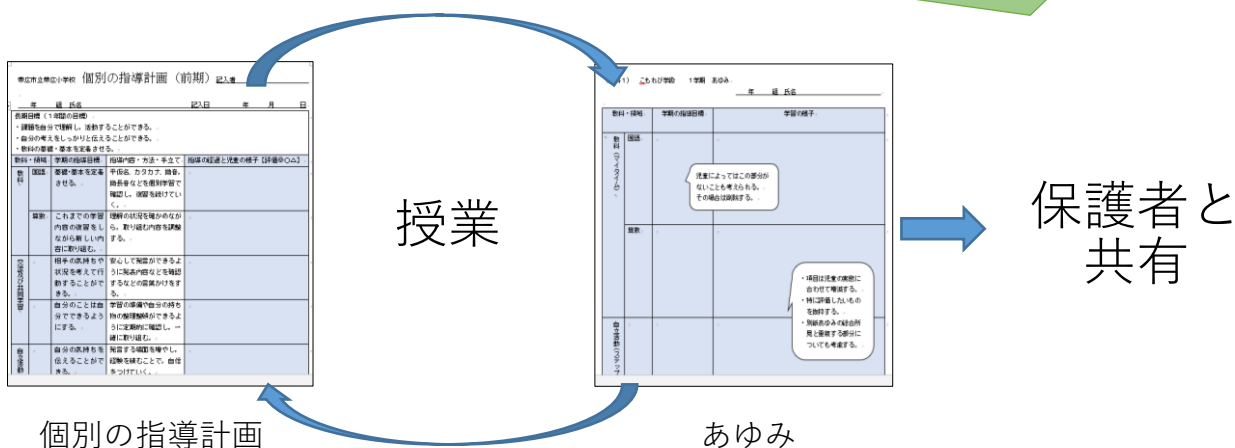
4 特別支援部会「仮説①」

<仮説1に関わって>

① 個別の指導計画に基づいた授業づくり・課題設定

個に応じた適切な課題設定を行うために、個別の指導計画に基づいた授業づくりをすすめます。また、教師が個別の課題をおさえつつ、子どもが主体的に課題を選択することも取り入れていきたいと考えています。

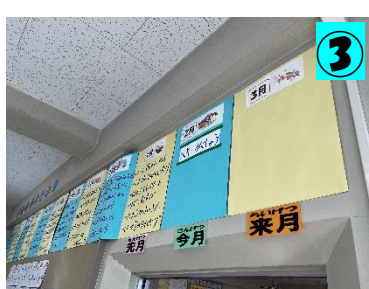
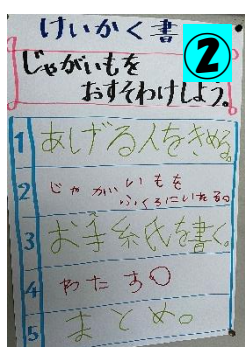
また、個別の指導計画とあゆみの形式を整合させることで、指導と評価の一体化を図り、更に保護者との共通理解もすすめていきます。

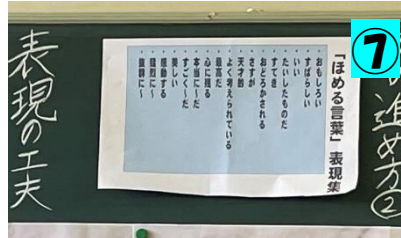


② 児童の実態に応じた手立ての工夫

<児童の実態に応じた手立て例> R4・R5

見通しをもたせる手立て	① 1時間の学習の流れの掲示
	② 単元の学習の流れの掲示
	③ 1年間の行事・活動の掲示 (取り組み成果の掲示含)
教材・教具の工夫	④ こえのものさし
	⑤ 児童の注目を手助けする枠
	⑥ 複数の気持ちカードの組み合わせ
	⑦ ほめ言葉集
	⑧ ゲーム性のある教具
ICTの活用	⑨ スクリーンレコーダーの活用 (ノートを書く手助け)
	⑩ ドキュメントで文章づくり





今年度も、実践を積む中で多くの手立て例を蓄積し、日々の学習活動に活かしていきます。

③生活に必要な力（本時で身につけさせたい力）の明確化

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・平仮名を読み、書いている。 ・長く続いている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。	・「あいうえおのうた」の仕組みを把握し、言葉の響きやリズムを考えながら言葉を組み合わせている。	これまでの学習をいかし、進んで平仮名の五十音を確かめ、言葉遊びを楽しもうとしている。

5. 単元の指導計画（全4時間 本時 2/4）

時数	学習活動	目標	評価規準		
			知	思	態
1	・「あいうえおのうた」を知る。 ・さまざまな読み方で「あいうえおのうた」を読む。	・「あいうえおのうた」の言葉のリズムを楽しんで読み、言葉のつながりのおもしろさに気づくことができる。			◎

【教科の学習】では、教科書に示されている教科の目標とは別に、児童の実態に合わせた個別の目標（教科）を設定。

6. 本時の指導

(1) 児童の実態と個別目標

児童	児童の実態	本時の個別目標	個別の手立て	個別目標の評価
A	・平仮名はほぼ全て読み書きをすることができる。やがていねいに書ける。	・友達に自分の考えを伝えることができ、相談しながら「あ	・事前に参観があることを伝えておく。	・友達に自分の考えを伝えることができる。

上記のねらいを達成するために本学級では、自立活動の要素として、以下の内容と関連させながら指導を行っていく。

特別支援学校学習指導要領（平成30年3月）自立活動

- 3 人間関係の形成 (1) 他者との関わり基礎にすること
- 6 コミュニケーション (3) 言語の形成と活用に関すること

さらに、【教科の学習】でも自立活動の要素を授業に取り入れた授業づくりをしていきます。（仮説2の内容と重なる部分が多くなると予想しています。）

⇒6項目27区分を記載する。